

2002年9月の情報です。

平成13年度大気汚染の状況について

4 光化学オキシダント(Ox)の状況

光化学スモッグの原因となる光化学オキシダントについては、一般局56局で測定を行った。

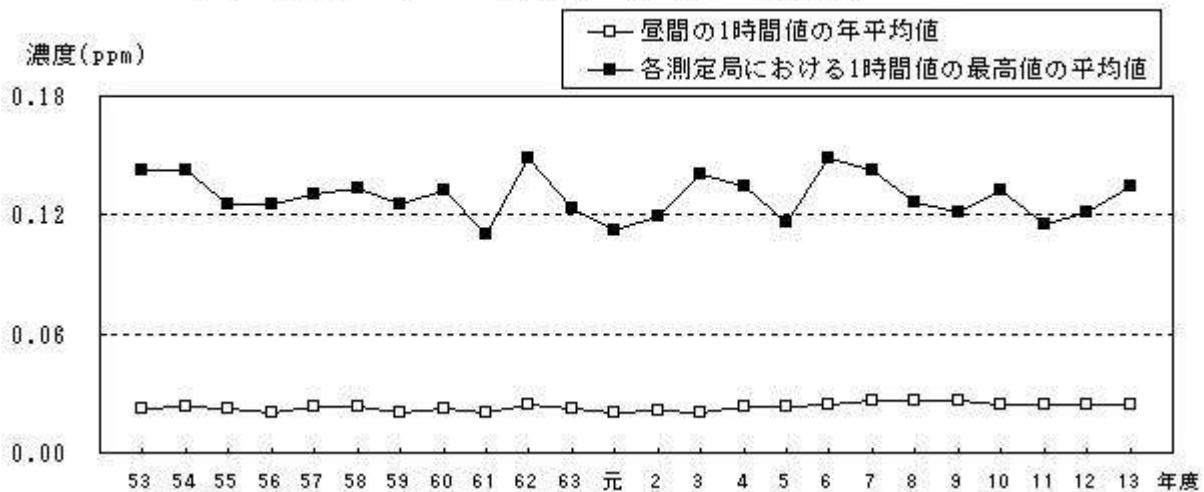
(1) 環境基準の適合状況

1年間のうち1時間でも環境基準値を超えれば不適合と判定することとなり、平成2年度以降、全測定局で環境基準に適合していない。

(2) 年平均値の経年推移(図9)

昼間(5時~20時)の1時間値の年平均値の経年推移を見ると、ほぼ横ばいの傾向にある。

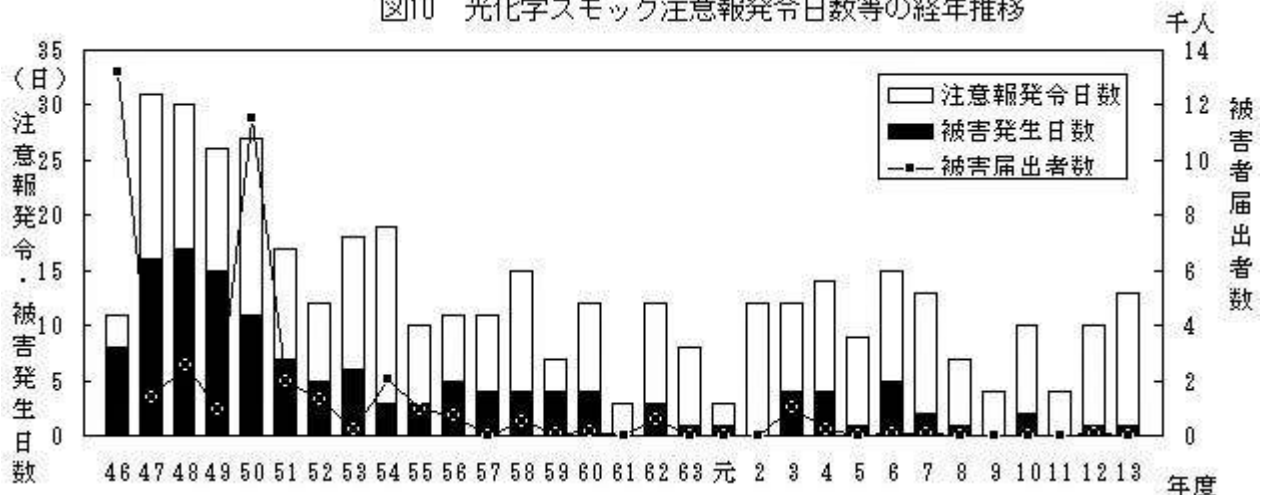
図9 光化学オキシダント濃度の年平均値の経年推移



(3) 光化学スモッグ注意報の発令状況等(図10)

注意報の発令日数は13日で、被害の届出は1名であった。

図10 光化学スモッグ注意報発令日数等の経年推移



光化学オキシダント

《環境基準》

1時間値が0.06ppm以下であること。

《注意報の発令基準》

光化学オキシダント濃度の1時間値が0.12ppm以上となりその状態が継続すると認められる時